

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症高齢者の特性を理解し支援できるような姿勢を基本とし「口出すな」「手を出すな」「見落とすな」を理念としている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有の為施設内に掲示している。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族面会時に利用者の外出や地域活動に参加していることを伝えるなど取り組むと共に、運営推進会議などからの情報の活用で地域参加することによる取り組みをしている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている	町内の自治会行事や小学校の運動会等に参加し交流を深めている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会主催の夏祭りや交通安全指導などに参加させていただき地域とのかかわりが持てるようになってきた。また小学校からは花の苗をいただき運動会への参加等交流を深めている。	

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	学生や福祉養成校の実習研修受け入れ、地域にある家族会参加をとおして認知症高齢者に対する理解と家庭介護の相談アドバイスをしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己・外部評価の意義を共有し、評価結果を質の向上改善に向けた取り組みをしている。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に一度定期的に開催し現状報告を行っている。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	生保の相談や空室情報を毎月保険者はじめ関係者に送付している。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人はそれらを活用できるよう支援している	人権擁護・成年後見制度の研修に参加している。研修会を受講して虐待防止に努めている。 生保の指定機関としての役割も果たしている。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止研修を受講すると共に施設内研修をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約は、利用者の事前面接と施設見学をしてもらい同意を得たうえで契約をしている。契約書について逐条ごとに読み上げ説明納得していただいている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月地域の相談員の訪問があり利用者の皆さんとの相談にのっていただいている。また相談員の気づきやアドバイスもいただいている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月ひまわり通信を発行し行事の様子やその他出来事などを報告している。また最近では個々の状態報告を毎月送付するようにしている。金銭は家族の希望があれば預かり収支報告している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情に関するポスターを施設内に掲示し、気軽に相談してもらうようしている。苦情等があれば解決責任者を交えた協議の場をもつことにマニュアル化している。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>入退居など関係職員と協議しつつ運営に当たっている。その他職場環境改善にも意見をきいている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>新規入居者に対する対応や、職員の家庭環境にも配慮した勤務割付を心掛けている。</p>	

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は原則固定とし馴染みの職員による介護が受けいただけるように配慮している。毎朝の申し送りにて全職員が全利用者の状態を把握することに努めている。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修や関係図書の購入により施設内研修を実施している。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム協議会への参加をとおして事業所相互間の交流をしている。 また、同業者からの研修や見学を多く受け入れている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減のため、介護用具や備品の改良や整備につとめている。定期的に職員慰安行事なども実施している。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働くように努めている	資格取得に向けた支援を積極的にしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	最近では病院内の相談室からの問い合わせが多くなってきていている。ご本人自身から要求を聞くことはあまりなくご家族との話し合いの場合が多い。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前にご家族、ご本人との面会の場を設け必要な援助を把握するよう努めている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホーム適応者であるかを見極めるとともに他のサービスの情報提供を行っている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するため、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に訪問していただける場合は部屋を見ていただきたり納得して入居していただけるように働きかけている。訪問できない場合でも職員が事前に訪問している。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員自身も共に喜怒哀楽を感じながら介護している。	

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	情報提供をおします面会時には最近の様子など状態報告をするようにしている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族との関係も密になるように心がけている。また、家族とのコミュニケーションを大切にし情報収集を行っている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている	面会時間は設けておらず面会の制限等もない。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	人間関係の把握に努め時には部屋替えをするようなこともあった。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院した場合でも定期的に状況を家族から聞くなどして、関係の継続性を大切にしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望を尊重しご家族に働きかけることもある。希望が出来るだけかなうようにしている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族からの情報収集や前医院や支援センターや相談室などからも出来るだけ多くの情報が得られるように努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	大まかな一日の流れはあるが一人ひとりが自分の望む暮らしが出来るように配慮しているが、ほとんどの方が誘導声かけが必要となってきている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	家族の思い、自ら話せるかたとは本人の希望が出来るだけ生かせるように配慮した介護計画を作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画期間終了前に状態変化した場合等には家族の思いや希望を聞き今後の方針や目標をたて計画の変更を行っている。	

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<input type="checkbox"/> 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録を介護記録として記入。情報の共有は毎日の申し送りとノートにより全職員が計画の変更を把握できるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<input type="checkbox"/> 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	介護予防やショートステイの指定を受け対応ができる体制は整っている。また他医療機関への受診や緊急の医療機関への受診等もホームで担当している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<input type="checkbox"/> 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	踊りや手品のボランティアは定期的に訪問を受けている。また、春と秋には消防署の協力を得て消防訓練を実施している。小学校の運動会や地域の夏祭りなどへの参加をしている。		
41	<input type="checkbox"/> 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャー やサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者によっては、将来的に他介護施設に転居を希望されることもあることから、近隣の施設と提携関係をしている。		
42	<input type="checkbox"/> 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターの行事に参加すると共に、利用前のケアマネ情報も提供を受けている。場合によっては、利用後の状況について報告することもある。		

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医以外の病院等への受診も家族の希望があれば受け入れている。眼科、婦人科、皮膚科への送迎も行い家族と病院との橋渡しを努めている。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	より良い医療が提供でき穏かな生活が送っていたりするように配慮し、内科、精神科の定期的な往診、受診を受けていただいている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	2名の看護婦がおり全入居者の状態把握に努め健康管理に努めている。また介護職員へのアドバイスも行っている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時の情報提供はもちろんのこと入院中の状態も把握できるように家族や相談室との連絡を密にしている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	Dr、家族、看護職員、スタッフを含め早い段階から家族の意向を聞きDrへ報告。今後の方針を立て医療との協力のもと介護している。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	グループホーム内での医療行為の限界を家族に説明し納得していただければホーム内で対応しているが、重度の医療行為が必要となる場合は入院していただくこともある。いずれにしても家族の希望が出来るだけかなえられるように努めている。現在ターミナルの状態の方もある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	転居に当たっての事前の面会の対応や介護情報提供などを行い、環境の変化によるストレスを出来るだけ感じないように配慮している。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**1. その人らしい暮らしの支援****(1)一人ひとりの尊重**

50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの保護に努めている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人が自分で意思決定が出来る場面を提供したり表現できるような働きかけをしている。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物の希望やドライブ、食べたいものの献立を立てるなど希望に沿った支援をしている。		

(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毛染めの希望を聞き対応したり、美容院へのカットパーマの送迎なども行っている。		
--	--	--	--

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬のものをメニューに取り入れる工夫を行っている。またおはぎ作りやもやしの根取り、食後のお盆拭きなど能力に合わせた家事援助をお願いしている。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒は公の場では飲んでいただいている。（アルコール依存症の入居者がある為）タバコは所定の場では認めているが花梨入居者には飲酒、喫煙の習慣のある入居者はおられない。		
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排尿間隔やパターンを把握し誘導することで失禁を減らす工夫をしている。また表情や態度などから職員が察して誘導することもある。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者は曜日を決め午前中に入浴介助している。強制ではないので今日ではなく明日入りたい等の希望には臨機応変に対応している。ベット上生活の入居者もシャワーチェアに移動し2回／週の入浴を実施している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	休息は本人の希望はもちろんのこと表情や態度などから職員側から誘導することもある。消灯などの時間は設けていないが、自分で自己決定が出来ない入居者には翌日に支障がない程度の入眠時間に居室に誘導している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来ることや興味のあること、趣味を生かすなどの能力を発揮できる場を提供している。		

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小額のお金を本人の希望で持っておられる方もある。紛失の可能性はご家族にも理解いただいている。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来るだけ希望に添えるようにしている。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外出や外泊は家族の希望で行っている。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を家族や友人に送る手助けをしている。電話は希望があれば使用していただいている。電話の取次ぎに対しては制限はない。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間はなくいつでも気軽に立ち寄っていただけるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居契約書に身体拘束原則禁止を謳い説明している。しかし、拘束することが本人利益に叶うと判断したときは家族と相談し同意書をもらって限定的に実施する場合もある。	○	身体拘束をしないケアは充分理解しているが車椅子よりの転倒、転落の危険性の高い方がおり車椅子ベルトを使用している。家族の同意は得ているが職員が側に居られる時には見守りを密にすることでベルト使用をしなくても良い様にしたいと思っている。

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	戸外に通ずる門扉は施錠しているが、個室と各棟の玄関は開放して自由に訪問交流できるようにしている。	○	鍵をかけないケアの理解はあるが南と北の門のみをオートロックで施錠している。ホーム内は開放し自由に行き来出来る様にしている。職員が側に居ることが出来る時や庭仕事等をしている時には開放している。開放できる時間を多くしたい。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜を通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に所在確認を行っている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみ、包丁等は管理しているがレクリエーション時や職員が共同で作業する場合には職員の監視下で使用していただいている。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状態に応じて事故防止に取り組んでいる。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行ってている	急変時、窒息時の対応など起これ得る事故を想定し定期的に指導している。窒息の可能性のある入居者のベットサイドには吸引ビンを設置している。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消防署の指導のもと消防訓練を実施し入所者にも参加していただいている。水消火器での消火活動にも参加していただいている。		

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	徘徊による転倒のリスク等については家族へ説明し理解を求めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	看護師に連絡し指示を仰ぐ体制は整っている。指示判断により速やかに対応できるようになっている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋はいつでも確認できるようにしている。薬の変更時には使用用途、期待できる効果などを申し送り状態変化を記録に残すように指導している。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜、水分などの摂取を促したり腹部マッサージ、決まった時間にトイレに座る習慣をつけることで自然排便を促している。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	定期的な歯科受診、歯磨き指導を職員も受け実施している。毎晩の入れ歯の消毒を行っている。出来る入居者には声かけ促しを行い、口腔ケアが必要な入居者にはうがい薬やガーゼを使用して口腔清拭を行っている入居者もある。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特別なカロリー計算はしていないが、食べられる量や食べやすい形態の工夫を行っている。お粥、ミキサー、トロミなど状態に合わせる配慮をしている。水分は最低量はおやつで提供し個人的にペットボトルで水分補給している入居者もある。夏場はポットを設置して自由にいつでも飲んでいただけるようにしている。		

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	看護婦を中心として指導を行っている。インフルエンザの予防接種は職員、入所者共に接種している。タオルは使用せず紙タオルにしウェルパス、イソジンガーグルでのうがいを勧行している。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	季節の食材を買い物に行き新鮮な食材を使用している。食器は入居者に洗っていただいているがその後高温にて殺菌するようにしている。まな板等の調理器具も同様である。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるよう に、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇の花を絶やさない様にし入りやすい工夫をしている。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとつて不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	レクリエーションの作品を張ったり行事の写真を掲示してしている。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	中庭の花を見ながら気の合ったもの同士で語り合えるような空間を作っている。夕方になると他棟の入居者とも会話を楽しんでおられる姿を見かける。		

岐阜県. グループホーム本巣ひまわり（花梨）

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベット、箪笥、ロッカーは備え付けであるが備品等は慣れ親しんだものを持っていていただけるように働きかけている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	トイレ、居室など適宜換気扇を使用している。オムツは新聞紙に包んでから捨てるようにしている。室温調節はまめに行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーであり廊下には手すりを取り付けてある。南にスロープをもうけ畑を見に行けるようにした。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレの表示や自室の名前などを掲示し混乱を防いでいる。また学習療法などは個々のレベルに合わせて提供している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	通路には季節の花を絶やさない様にし入所者と共に土の入れ替えから一緒に行っている。中庭には枝豆やイチゴなどを植え収穫を楽しみにして手入れしている。		



部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目		取 累 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている ②少しづつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)